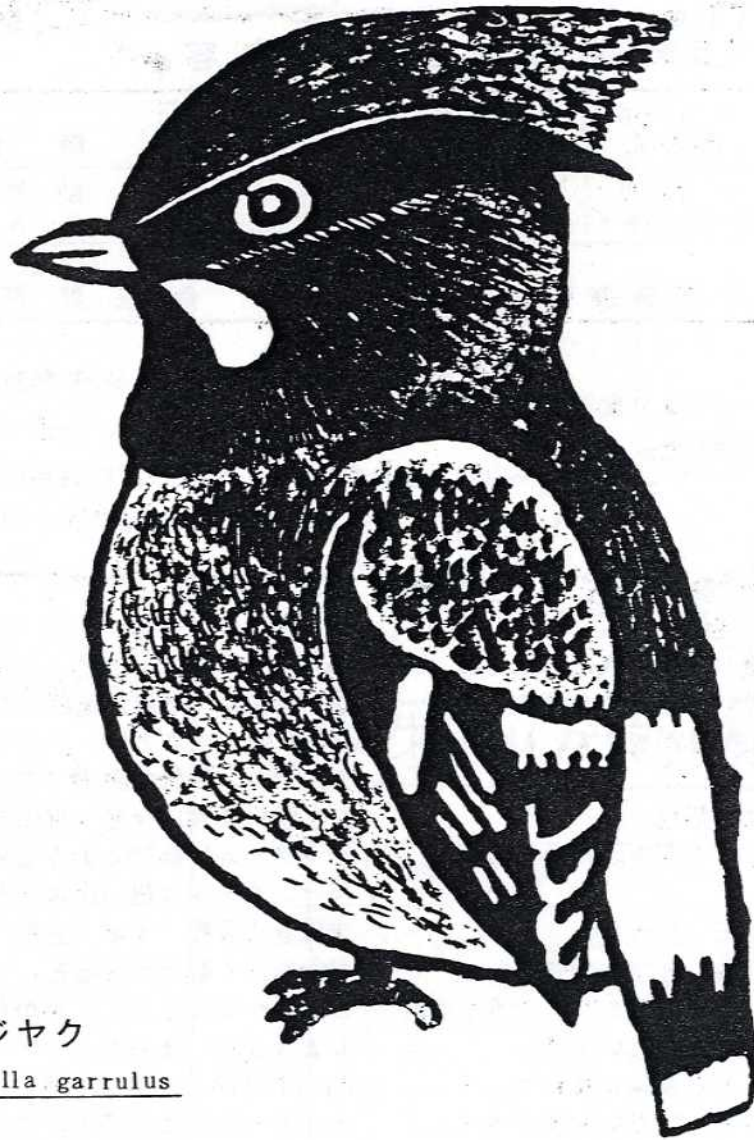


# モユク・カムイ

★モユク・カムイ (アイヌ語でエゾタヌキのことです。)



★キレンジャク

Bombycilla garrulus

1986.12

NO.

7

「旭川市民の鳥」キレンジャクつて、どんな鳥ですか?という問い合わせがよくあります。一言で説明するのはとても難しいものです。「それでは実物を見せよう」と3年前から展示の計画をしました。最初はケガをしたり弱つたりして動物園に保護されてきたキレンジャクを、1羽、1羽と大切に育ててきました。昨年、ようやく7羽の群で飼育できるようになりました。そして、今年の春、開園と同時に7羽のキレンジャクを公開展示することができました。鈴をふつたような、やさしいきれいな声でさえずるキレンジャクの姿に多くの人が立ち止まつて観ていました。キレンジャクは暑さに弱く、今年の夏もちよつと心配でしたが、なんとか全員乗り切り、今はとても元気に冬を越しています。



# ☆今年はいろんなことがありました☆



# サマースクール

旭山動物園のサマースクールは、昭和49年から始まり、今年で第11回目になりました。これまでに約700名以上の卒業生を送っていますが、その中には念願の動物園飼育係になった受講生もいます。

今年は8月4・5・6日の3日間、旭川市内の17小学校から5年生、6年生あわせて50名が楽しくサマースクールを受講しました。

## 時間割及び実施内容

8月4日(月)	10:30 ~ 11:00 受付・開校式	~ 12:00 園内動物観察	~ 13:00 昼食	~ 15:00 飼育実習
8月5日(火)	9:30 ~ 11:00 飼育実習	~ 12:00 動物映画	昼食	動物画教室 うんこ教室
8月6日(水)	9:30 観察発表資料作成	~ 12:00	昼食	~ 14:30 観察発表 ~ 15:00 修了式

😊 研究発表パネルは、8月15日より動物資料展示館で一般公開を行いました。とても好評でした。

😞 第3日目に行われた観察研究発表会では、各班苦心して作成したパネルを前にして、全員で活発なディスカッションをしました。“先生役”の飼育係のおじさんたちも困ってしまうほどたくさんの質問がとびかいました。

## ☆みんな一言いっちょ☆

- ・春光小学校 5年 山本 容子  
サマースクールに来て、他の学校の人たちとも友だちになれてよかったです。今までさわつたことのないような動物の世話ができて、とても勉強になりました。
- ・あだご小学校 6年 梅村 拓也  
来年もきたいけど、ことは6年生。だから来年はいけない。さんねん。
- ・旭川第二小学校 横田 ユカ  
サマースクールに来て3日間、とても勉強になりました。象やアザラシにえさをあげたり、そうじしたり、動物としたしくなつたと思います。それに他の学校から来た人とも友達になれて、また来年もきかいがあつたらまた来たいと思います。
- ・神楽小学校 谷 千恵美  
サマースクールで三日間勉強してとてもたのしかつた。アザラシやぞうのめんどろをみて、えさをやつて、とてもたのしかつた。できれば来年もきたいです。
- ・永山南小学校 6年 渡辺 宣征  
サマースクールに来てとても勉強になつた。なつかしい人やいろいろ友達ができ。この3日間とてもたのしかつた。また参加したいけど中学生だから。
- ・北鎮小学校 6年 奏 さやか  
とても楽しかつた。とくにアザラシの世話が楽しかつた。またらいねんも来たいけれど中学生はこれないのでさんねん。しいく係の人はみんなやさしい人たちだとおもつた。

- ・日新小学校 5年 柴谷 友紀  
わたしは、サマースクールに参加してよかつたと思います。それは、勉強になつたことです。一番勉強になつたことは、アザラシのプールそうじとえさやり、動物の観察です。これは一番いいことだと思います。今度6年生になつたら、またサマースクールに参加しようと思います。夏休みのサマースクールは思い出になりました。
- ・末広北小学校 6年 三瓶 有一  
動物をよく観さつすると、いろいろなせいしつなどがわかつたので、これからはしつかりかんさつしようと思いました。
- ・旭川小学校 5年 小林 佳弘  
とてもつかれたが楽しかつた。来年もおうぼするぞ!
- ・第三小学校 5年 辻栄 公仁  
へやそうじは、とてもたいへんだつたけれどとてもたのしかつた。らいねんもこよようと思う。
- ・向陵小学校 6年  
アザラシやラクダのそうじやゾウのかんさつは、とてもおもしろかつた。まんが教室で骨組みがよくわかつた。それにうさぎのかがとやフラミンゴのつまさきがよくわかつた。また来年も動物サマースクールに行きたいと思う。
- ・神居小学校 5年 青木 洋子  
私は、サマースクールに来て始めは面白くなさそうだなと思つていたけど、やつてみてとてもおもしろかつたです。アザラシにえさをやつたり、ぞうのしいくをしたりとてもおもしろいです。おかげで新聞やテレビにもでられたし来年もこよようと思います。

# 親子動物教室

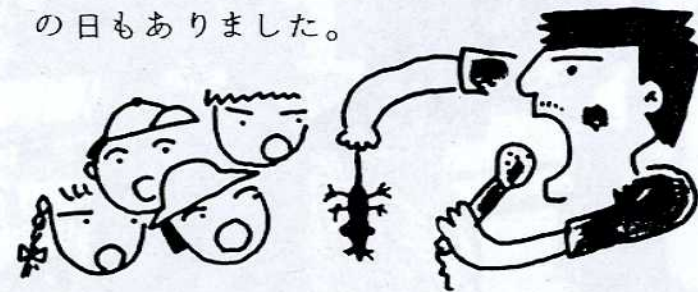
夏休み期間、5回にわたつて親子のための動物教室が行われました。とても熱心な親子のグループが多く、講師に当たつた飼育係は質問攻めにあい、時間も忘れるほどでした。

## ワンポイント・ガイド

№	月/日	テ - マ
1	7・27	顔
2	8・3	手とあし
3	10	尾
4	17	うんこ
5	24	鳥

№	月/日	テ - マ
1	5・11	アフリカゾウ
2	18	チンパンジー
3	25	フタコブラクダ
4	6・1	ガンとカモ
5	8	ホツキョクグマ
6	15	アライグマ
7	22	キジ
8	29	ゴリラ
9	7・6	動物園の台所
10	13	カバ
11	20	キリン
12	8・31	ウオンバット
13	9・7	ダチョウ
14	14	サルの仲間
15	15	シベリアトラ
16	21	ゴマフアザラシ
17	23	エゾヒグマ
18	28	サル山
19	10・5	エゾユキウサギ
20	10	エゾシカ
21	12	エゾタヌキ
22	19	エゾリス

今年から始まつた飼育係による30分講座“ワンポイントガイド”は予定どおり全部で22回行われました。ほとんどが屋外の動物舎の前で行うため雨の日はたいへんで、参加者が3名というドシヤ降りの日もありました。



## 特別パネル展

№	期 間	テ - マ
1	4/27 ~ 6/30	「ゆかいな仲間」チンパンジー展
2	7/15 ~ 8/31	旭川の自然
3	8/13 ~ 8/31	サマースクール研究発表展
4	9/14 ~ 10/19	日本の動物園ポスター展
5	10/5 ~ 10/19	旭山動物園 一冬の動物たち

園内の動物資料展示館1階ホールで「特別展」を行いました。「チンパンジー展」「旭川の自然展」の時は、講演会も行い、多くの人に参加しました。「ポスター展」では全国の38園の動物園から80枚のポスターが送られ、それらを展示して、希望者にプレゼントをしました。



リキる(1キ)



旭川動物園は10月19日で今年閉園となりました。

園内は急に静かになりました。でも職員はのんびりしてはいられません。雪が降る前に、動物たちの移動や、動物舎、園内の樹木の冬囲いなど、越冬の準備でおおわらわでした。

さて、雪の世界での動物たちの表情をスナップしてみました。



## ゴマフアザラシ

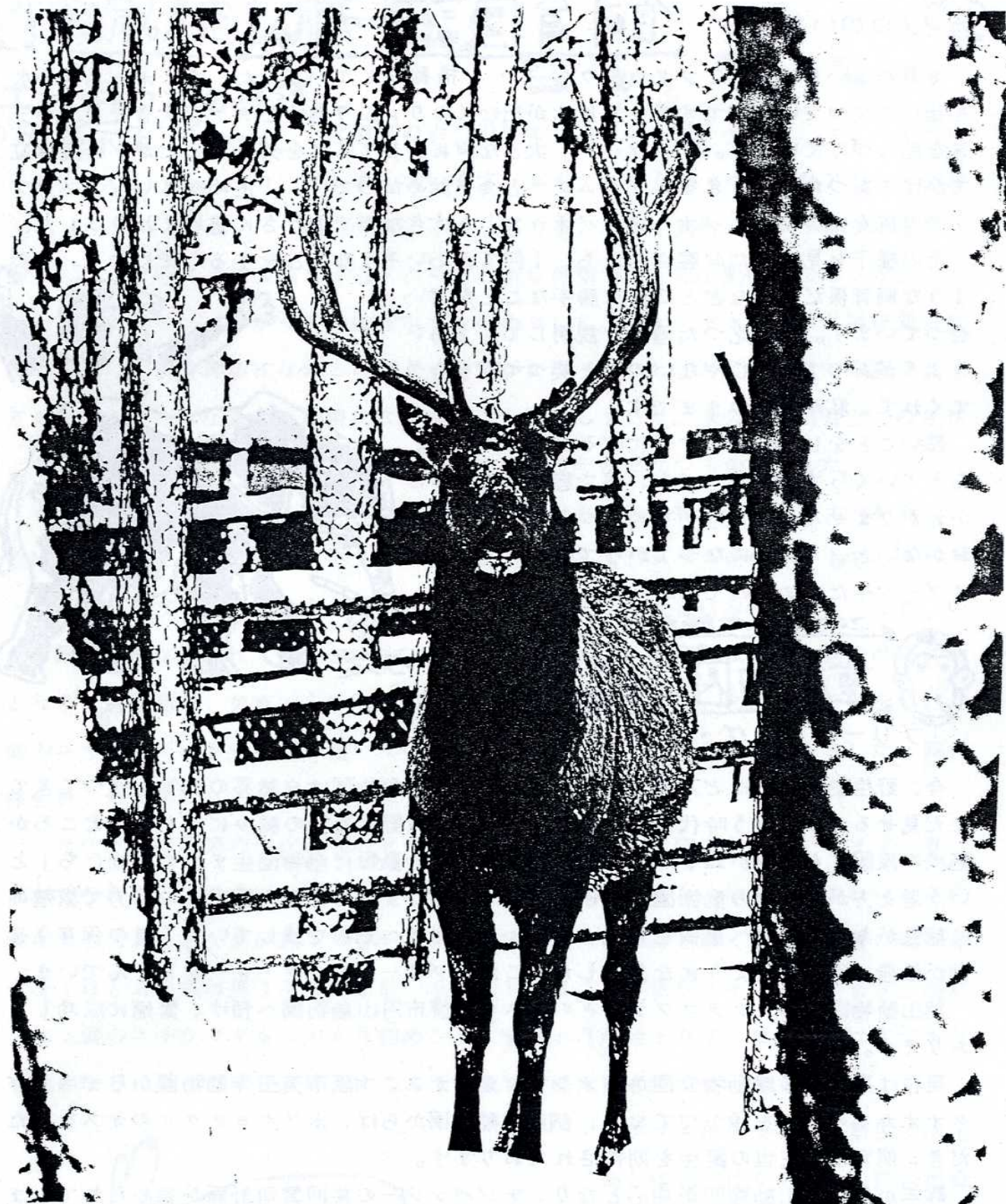
アザラシは氷の浮かぶ水の中でも平気、ヒゲにまで氷ができています。8cmもの厚い皮下脂肪と特殊な血液循環法で体温の低下を防いでいます。

今年生まれた子どももすっかり大人の仲間入り、来年はきつと区別が付きませんよ。



## ホツキョクグマ

寒い冬を一番よろこんでいるのがホツキョクグマでしょう。暗くなつても遊ぶのに夢中で、寝室に入りたがらず飼育係を困らせています。クマの仲間でも子を産むメス以外は冬ごもりをしないで、冬の間も活動しています。



## ワピチ

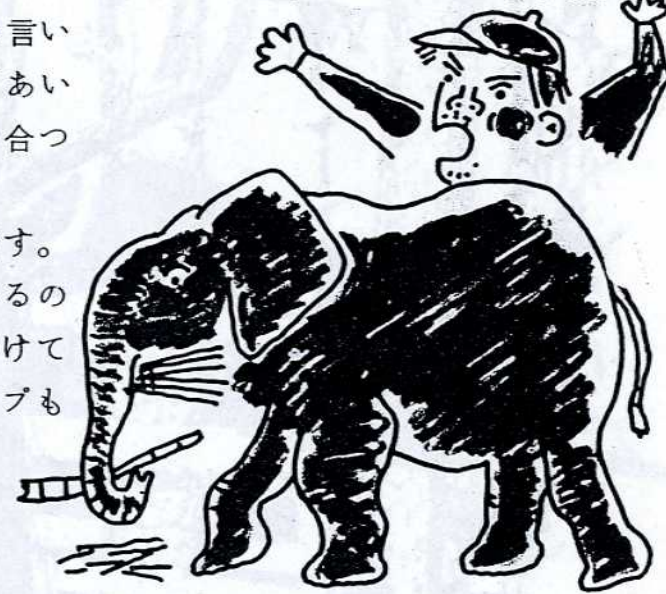
北アメリカにすむ大型のシカです。立派な角でしょう。今が一番強い季節です。せつかくの角もお嫁さんがいないので自慢することができません。3月にはこの角も落ちてしまい、半年かけて、また大きくします。



8月の暑い日曜日、アフリカゾウのプール掃除をしていました。太いホースから水を出して洗っていたのですが、急に水が出なくなり、ふり向くとナナが大きな足でホースを踏んづけています。「コラーツ」大きな声にあわてて足を外しましたが、今度は立てかけてあつた竹ぼうきをムシヤムシヤと食べ始めたのです。「止めなさい!!」スコップでお尻をボカリ、「パオーツ、パオーツ」と大きな声で大げさに逃げまわりました。

その様子を見ていたお客さんたち、「何てかわいそうなことをするんでしょう、鬼のような飼育係だわ」などと口々に勝手なことを言い合っています。私が叱つた理由を説明しても「あいきようがあつていいじゃないの」と笑つて取り合ってくれず、私が悪者のままです。

悪いことをした時は、すぐに叱るのがコツです。あとでいくら大声で怒つても、何で怒られているのかわかりません。小さいうちにしつかりとしつけておかないと、4トンになつてからでは、スコップもスプーンみたいなものですからね。(小林)



このごろ、こんな言合が……  
動物園の話題  
ブリーディング・ローン

今、野生動物の数はどんどん減つてきています。動物園は自然界の動物を獲つてきて、ただ見せるだけという時代もありました。それでは野生動物の減少に手を貸すどころか、絶滅の原因にもなりかねません。そこで「動物園の動物は動物園生まれの動物たち」という考え方が世界中の動物園で、もたれるようになりました。動物園同士の協力で繁殖の可能性がある動物園へ動物を預け、何とか次の世代へ動物を残していく(種の保存)運動が活発に行われるようになりました。これをブリーディング・ローンと呼んでいます。

旭山動物園でも、フタコブラクダのオスを札幌市円山動物園へ預け、繁殖に成功しております。

現在は東京都多摩動物公園からオジロワシのオス、大阪市天王寺動物園からチュウゴクオオカミのペアを預かつており、釧路市動物園からは、ホツキョクグマのオスをいただき、飼育下第三世の誕生を期待されております。

昨年からは旭山動物園が中心となり、チンパンジーの共同繁殖計画が進められています。昭和60年は帯広動物園、昭和61年は釧路市動物園からチンパンジーのメスを預かり、何とか繁殖させようと試みています。残念ながら、まだ成功はしていませんが、来年は可愛い赤ちゃんを帯広や釧路の子どもたちにも見せてあげることができたら……と思つています。

このように全国の動物園で、何とか野生動物を動物園で増やして行こうとする努力が続けられております。皆さんも是非、応援してください。

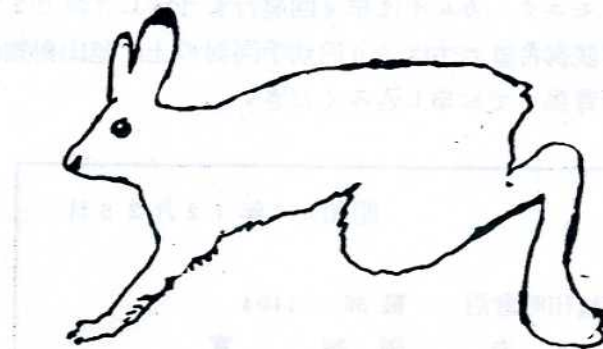
エゾキウギの保護から、展示まで……

北海道の森や草原にすんでいる野ウサギは、エゾキウギとよんでいます。カイウサギ(ヨーロッパのアノウサギが原種です。)はもちろん、本州や九州の野ウサギとは違つた

種類で、むしろアジア大陸にすむノウサギと同じ種類です。旭山動物園では5年ほど前から本格的にエゾキウギの研究飼育を始めました。ユキウサギはとても神経質な動物で、新しい飼育環境になれるのに長い時間がかかりました。とくに成獣で保護されてきたユキウサギはなかなか環境になれずとても苦労しました。未公開の飼育室での生活になれてきたのは、この計画をスタートしてから3年ほどたつてからでした。

今年、動物園オープン(4月27日)と同時に北海道産動物の展示コーナーを新しく設けました。そしてエゾリスやフクロウ・野鳥と並んで、エゾキウサギもそのコーナーで一般公開することになりました。今まで人の前に出たことはありませんでした。いくら飼育係には、なれてきたといつても、もともと気が弱く神経質なので入園者の姿におどろき、逃げ回り、ケガでもするのではと非常に心配しました。ところが、展示した3頭のユキウサギは意外に落ち着いていて、ふだんと変わりなく生活を始めました。飼育係全員これにはビツクリしたり、ホツとしたりしました。

ユキウサギは季節の変化に合わせて、毛の色を変化させていきます。春、まだ体のあちこちにまばらにあつた白い毛は、夏には1本もなくなり全身きれいな茶色になります。そして冬が近づくと手足や耳の方からだんだんと白くなり、根雪の頃には全身(目と耳の先は黒)みごとな白い毛になり、まさに“雪ウサギ”となります。展示した3頭のユキウサギも、10月初めころに毛がわりが始まりました。今ではすっかり冬毛になり、外の雪げしきにとけこんで元気いっぱい動き回っています。



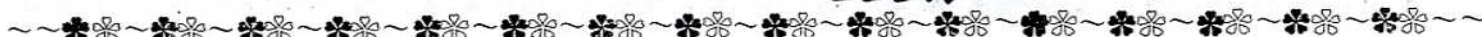
エゾキウサギは、野生では足あとは見つけても、その姿に出会うのはとてもむずかしい動物です。動物園でゆつくりと観察してください。そしてフィールドに出ましょう。ユキウサギを見かけることができるかもしれません。



# 動物園日誌 (1986・9～1986・12)

- 9・3 ズーガイド 日赤保育園  
 6 " ボーイスカウト第15団  
 アカハナグマ(5/14生まれ)公開  
 12 新富小学校「動物園の探険」  
 <1年生のためのウォークラリー>  
 14 特別展「日本の動物園ポスター」(~10/19)  
 17 ズーガイド 末広第2保育園  
 18 " 北野保育園  
 23 日弦協旭川子ども合奏団 - 演奏会  
 29 第116会旭山動物園飼育研究会  
 「ホッキョクグマのペアリング」深坂  
 10・5 特別展「旭山動物園-冬の動物たち」(~16)  
 6 ズーガイド カブスカウト旭川20団  
 15 日動水協北海道ブロック飼育研究会(~16)  
 「小型肉食獣の繁殖について」坂野  
 「飼料に関する調査報告」細矢  
 19 ズーガイド 勤労青少年ホーム  
 全国の動物園ポスタープレゼント  
 昭和61年度閉園  
 10・23 プリマーテス研究会(~24)  
 「食事療法によるチンパンジーの繁殖」小菅

- 11・8 エミュー2羽入園(大阪市天王寺動物園)  
 クロエリハクチヨウ2羽入園(仙台市八木山動物公園)……いづれも動物交換  
 11 第117回旭山動物園飼育研究会  
 「チンパンジーの共同繁殖」曾我部  
 13 アカハナグマ3頭 アライグマ4頭八木山動物公園へ……動物交換  
 14 ゴリラ舎運動場に止り木設置  
 18 ラクダ・オス1頭, ブタオザル・メス1頭入園(秋田市大森山動物園)  
 インドガン5羽, オシドリ3羽など  
 旭山動物園へ……動物交換  
 27 全国動物園技術者研究会(~28)  
 「エゾシカと雑種シカの核型比較」小菅  
 12・6 旭山動物園児童動物画展覧会(~8)  
 9 フジテレビ「ひらけポンキッキ」取材  
 11 第118回旭山動物園飼育研究会  
 「教育普及活動に関する報告」阿部



哺乳類	42種	180点
鳥類	82種	393点
は虫類	4種	22点
計	128種	595点

※ 10月19日で冬期閉園に入りました。今年もたくさんの方にきていただきありがとうございました。来年の開園は4月29日を予定しております。動物たちは長い冬を元気に過ごし、来春皆様にお会いできることを楽しみにしております。

モユク・カムイは年4回発行を予定しております。購読御希望の方は60円切手同封の上、旭山動物園飼育係までお申し込みください。

モユク・カムイ		№ 7	昭和61年12月25日
発行所	旭川市旭山動物園 〒078	旭川市東旭川町倉沼	TEL 36-1104
編集人	菅野 浩	編集委員	小菅 正夫 阿部 寛